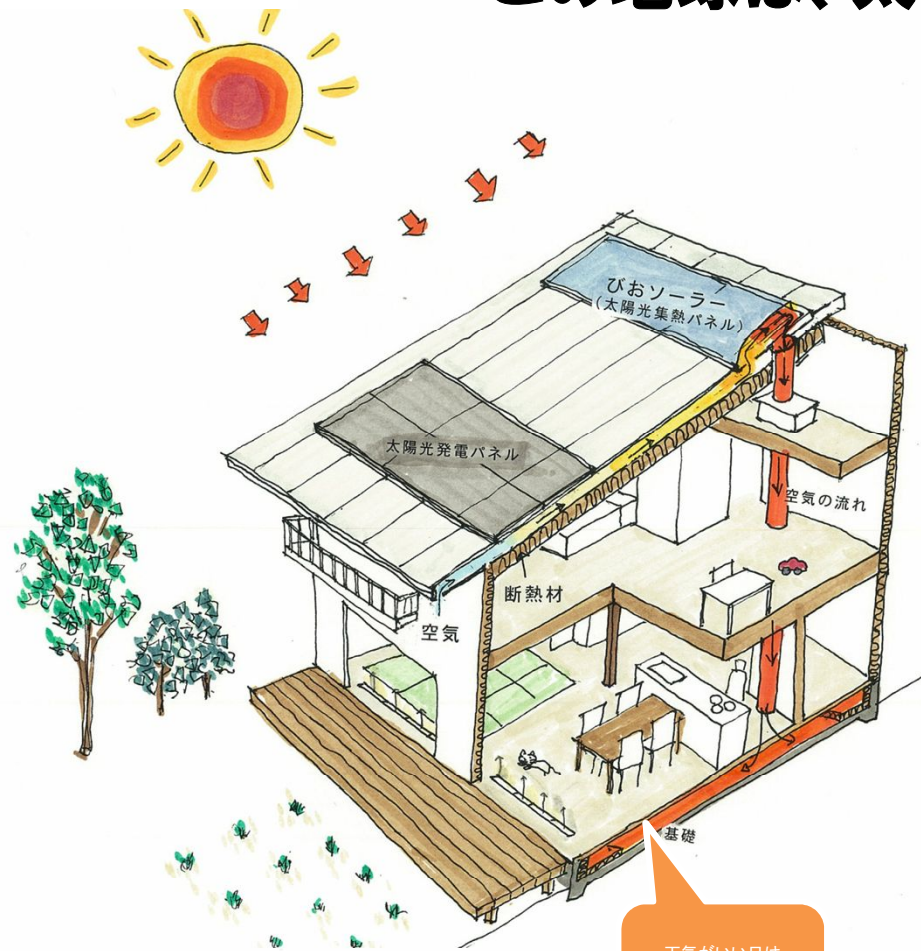


# びおソーラーのすゝめ

ハシバ木の家

## ～ この地球は、太陽が住む家 ～



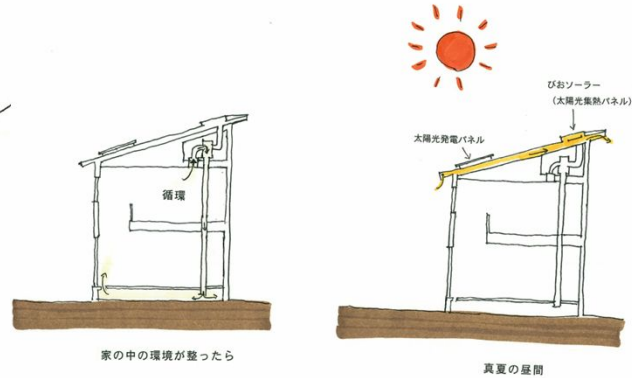
天気の良い日は  
うれしくなる生活。  
太陽光発電も組み合  
わせ可能です。

『びおソーラー』は太陽熱利用システムです。冬の日中は、太陽熱で暖めた空気を室内に取り入れて暖房換気します。

床下に取り入れられた空気は、基礎コンクリートに蓄熱され、夜間になるとゆっくり放熱されます。夏は日が沈んで外気温が室温より下がったら、外の涼しい空気を取り入れます。

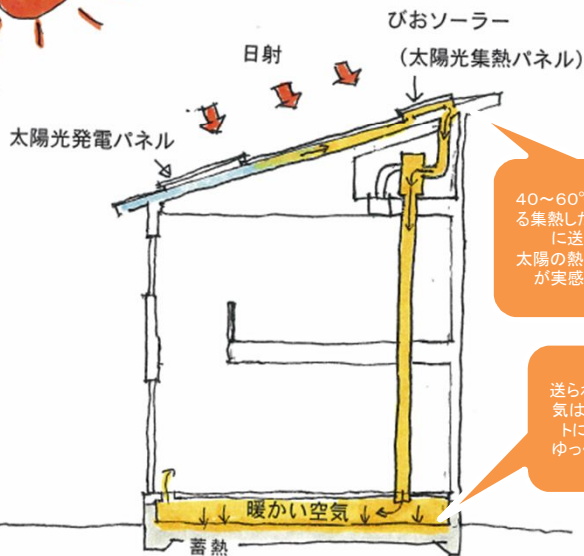
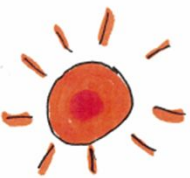
換気システムでもある『びおソーラー』は、家の中の換気はもちろんのこと、構造の木の乾燥維持も期待できるので、耐久性向上につながります。

『びおソーラー』はパッシブソーラーです。効率を上げるのではなく、足りているか、ほどがいいか、と考えます。



家の中の環境が整ったら

真夏の昼間

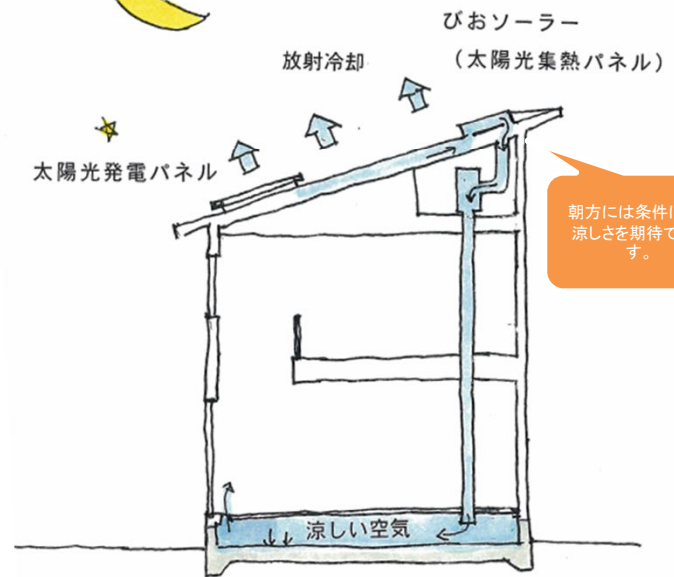


40～60℃前後にもなる集熱した空気を床下に送ります。太陽の熱のありがたさが実感できます。

送られてきた暖かい空気は床下のコンクリートに蓄熱され、夜間ゆっくりと放熱します。

冬の昼間

昼間、屋根で暖かい空気を集熱し、床下へ送りコンクリートに蓄熱。夕方から夜間にかけてゆっくりと放熱します。暖房しながら、換気もするシステムです。(天気の悪い日など他の暖房と併用します)



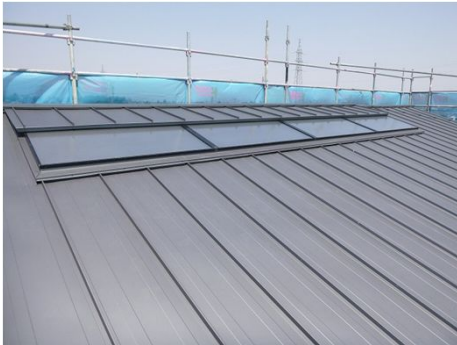
朝方には条件により涼しさを期待できます。

夏の夜

松本、安曇野地域は夏の夜、放射冷却により涼しくなるので、夏の夜の涼風取り入れ運転にも適しています。外気温が室温より下がると涼風換気運転を始めます。

# びおソーラーのすゝめ

## 施工事例



特許技術の集熱パネル  
(写真は4枚タイプ)  
日射透過率の高い白ガラス採用



コントローラ  
夏・冬・外気取り入れ・室内循環の  
4モード



ソーラーファンボックス  
集熱運転と室内循環に限定したシンプル運転  
先々のメンテナンスに配慮したシンプル構造



床下吹き出し口  
基礎コンクリートに蓄熱を行います。  
夜間にゆっくり放熱されます



床の空気循環口  
床面が20度ほどになるとぽかぽかです。



集熱空気床下を送る  
グラスウール断熱材の  
ダクト



2階の空気循環口

〒399-0014  
松本市平田東2-1-1  
TEL0263-86-2827 住宅事業部